

## 研修用林業機械の整備に対する支援について

【担当省庁】 林野庁

### 奈良県における取組

#### ◎奈良県フォレスターアカデミーにおける人材養成(令和3年度～)

○アカデミーでは、以下の人材を養成。(定員は両学科合わせて20名)

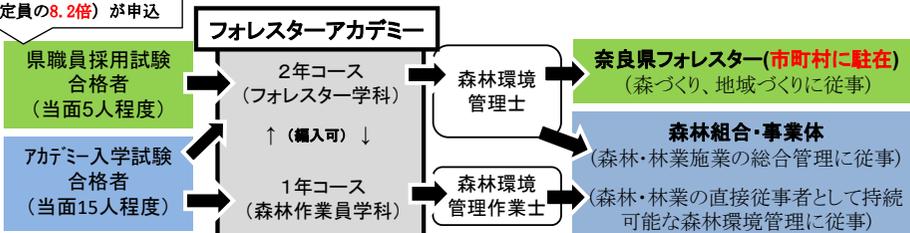
・フォレスター学科(2年制)

森林を活かし守る、**専門的な知識と技術を持った**「森林環境管理のプロフェッショナル」を養成。

・森林作業員学科(1年制)

現場の第一線で能力を発揮しシンプルで無駄のない作業を自ら考え安全に**実行**することができる**即戦力**を養成。

R5の採用試験には**41人**  
(定員の**8.2倍**)が申込



○フィールドワークを中心に**実践的な教育**を実施

○両学科において卒業までに、玉掛けや小型移動式クレーン等の技能講習、チェーンソー作業従事者や伐木等機械運転業務等の特別教育、刈払機作業や造林作業指揮者等の安全衛生教育等を受講し、**18種類**の資格を取得。



#### ○アカデミーの入学者数について

・これまでの入学者は、県内外より令和3年度20名(22名合格)、令和4年度19名(23名合格)、令和5年度16名(20名合格)、令和6年度17名(17名合格)となっており、ほぼ**定員を確保**できている。

#### ○卒業後の進路

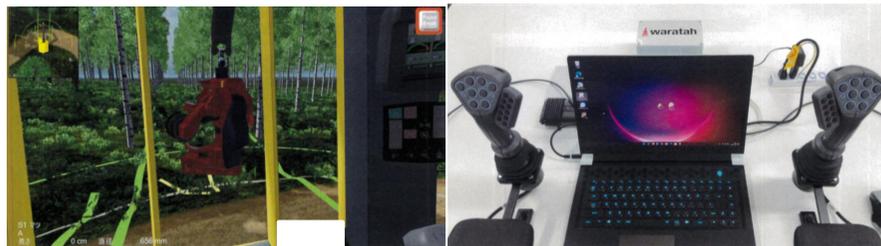
・卒業後は**100%が就業**しており、そのほとんどが森林組合や林業事業者等となっている。

#### ○学生・卒業生・外部委員からの声

・学生に対する振り返りシートや卒業生に対するフォローアップ、教育カリキュラム実施支援検討会委員からの声を反映している。  
・学生・卒業生・外部委員から**実機練習前**や**習熟度向上**のための練習用**VR型シミュレータ**の設置を求められている。

#### ○VR型シミュレータの利点

・林業機械の操作を習得するためには多くの時間操作練習をする必要があるが、カリキュラムの中で実際の林業機械を使った操作時間を多く確保することができない。また、未熟な操作による林業機械の**故障が発生**するなど課題が多い。  
・これらの課題に対し、VR型シミュレータを導入することで、授業の空き時間に操作練習が可能となり、林業機械を**故障させる事なく**林業機械の操作を習得することができる。さらに**卒業生の習熟度向上**にも活用が可能。



VR型シミュレータ(日立建機株式会社資料)

### 国にお願いすること

奈良県フォレスターアカデミーへの研修用林業機械の整備に対して**国事業予算化**及び**奈良県への配分**をお願いしたい。

【県担当部局】 環境森林部森林環境課